

## 「新物性の理論研究会」プログラム

日時：2004年11月1日(月)午後 ~ 2日(火)夕方

場所：名古屋大学 豊田講堂第一会議室

(地下鉄「名古屋大学前」下車徒歩2分、豊田講堂内)

11月1日(月)

13:25-13:30 開会(名大理 鈴村順三)

13:30-14:00 黒木和彦(電通大量子物質工)

[A1] 「TMTSF<sub>2</sub>Xにおけるスピン・トリプレットf波超伝導の可能性」

14:00-14:30 太田幸則(千葉大理)

[A2] 「擬1次元有機導体(TMTSF)<sub>2</sub>Xにおけるトリプレット超伝導の新規な機構」

14:30-15:00 吉岡英生(奈良女子大理)

[A3] 「不整合格子を有する電子系の金属絶縁体転移」

15:00-15:30 岸木敬太(熊本大教育)

[A4] 「陰イオン秩序下の磁場誘起SDWと量子ホール効果」

兼安洋乃(兵庫県立大物質理学)

[A5] 「角度依存磁気抵抗における電子相関の効果」

15:30-15:50 ----- 休憩 -----

15:50-16:20 宮崎剛(物材機構)

[B1] 「 $\text{Li}-(\text{ET})_2\text{XCl}_2$  (X=I, Au)の高圧下の構造と電子状態に対する第一原理計算とそれに基づいた理論解析」

16:20-16:50 石橋章司(産総研)、寺倉清之(北大創成科学)

[B2] 「第一原理計算による単一成分分子性導体の電子構造の研究」

16:50-17:30

[B3] 井上仁(分子研) 「異方的 Blume-Emery-Griffiths 模型の光誘起緩和過程」

[B4] 前島展也(分子研) 「1次元 ionic Hubbard 模型の光学応答」

[B5] 山下靖文(分子研) 「電子と結合した量子 Ising 模型」

[B6] 米満賢治(分子研) 「1次元モット絶縁体の電界効果」

18:00-20:00 懇親会(ユニバーサルクラブ)

11月2日(火)

9:00-9:30 高橋利宏(学習院大理)

[C1] 「NMR からみた BEDT-TTF 塩の電荷不均化とそのダイナミクス」

9:30-10:00 薬師久弥(分子研)

[C2] 「赤外・ラマン分光法からみた BEDT-TTF 塩の電荷整列状態」

10:00-10:30 妹尾仁嗣(産総研、CERC)

[C3] 「Frustration Effects on Charge Order in 2D ET Salts」

10:30-10:45 ----- 休憩 -----

10:45-11:15 堀田知佐(青山学院大理工)

[C4] 「1/4-filling 拡張近藤格子模型における強磁性と電荷秩序の共存」

11:15-11:45 嶋原浩(広島大院先端)

[C5] 「反強磁性超伝導体の上部臨界磁場と磁場誘起超伝導」

11:45-12:15 紺谷浩(名大理)

[C6] 「2次元ハバード模型における磁場誘起 SDW の理論： 型有機金属の解析」

12:15-13:30 ----- 昼食 -----

13:30-14:00 永長直人(東大工)

[D1] 「有機物における強誘電性と電荷ポンプ」

14:00-14:30 高田康民(東大物性研)

[D2] 「CDW-SDW 境界における金属状態」

14:30-15:00 大成 誠一郎(東大理)

[D3] 「拡張 Hubbard 模型における超伝導対称性」

15:00-15:30 田中康寛(東大理)

[D4] 「二次元拡張ハバードモデルの動的性質」

15:30-16:00 伏屋雄紀(名大理)

[D5] 「擬1次元系の超伝導と密度波—電荷揺らぎとスピン揺らぎ」

16:00-16:05 閉会